

令和3年度「親の育ち」家庭教育支援者養成講座

開催日：令和3年9月14日（火）、21日（火）、10月1日（金）
新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、オンラインで開催

本年度から、対象受講者を広げ、より多くの方の研修ニーズに応えるため、「子育てネットワーク養成講座」と「家庭教育支援者スキルアップ講座」を一本化しました。既に子育てネットワークとして活動している方、これから子育てネットワークを志す方、家庭教育や子育てに興味がある方など、80名の受講者が参加されました。

研修を終えた方が、今後、「子育てネットワーク」として、各市町村で子育てや家庭教育に奮闘している保護者を支援する立場として御活躍いただけることを期待しています。

○ 講座の内容

講座	開催日	内 容
1	9月14日 (火)	単位F：オンライン会議システム（ZOOM等）の運用方法について 講師：いぬやまe-コミュニティーネットワーク ICT事業講師 佐藤 知子 氏
2		単位E：地域における子育てネットワークとして家庭教育支援について 講師：子育てネットワーク 宮崎 初美 氏
3	9月21日 (火)	単位A：グループワークを活用した子育て支援～親の学び学習プログラムの活用を考える～（乳幼児期編） 講師：NPO法人子育て支援を考える会TOKOTOKO 理事長 坂 鏡子 氏
4		単位B：Withコロナの子育て支援の選択肢（幼児期編） 講師：名古屋学芸大学 教授 渡辺 桜 氏
5	10月1日 (火)	単位C：児童期の子どもの特徴と保護者への支援について 講師：愛知教育大学 教授 野平 慎二 氏
6		単位D：思春期の子どもと体の不思議 講師：愛知教育大学 准教授 高橋 靖子 氏

☆ 単位F 「オンライン会議システム（ZOOM等）の運用方法について」

「コロナ禍でも、子育て中の保護者に支援の手を差し伸べたい。その一つ的手段として、オンライン会議システムの利用があるのではないか」という課題意識から、オンラインアプリを体験する研修を行いました。佐藤講師の細やかな手ほどきによって、受講者からは、「自由が利かない子育ての中で、少しの時間であったり遠方であったりしても気兼ねなく参加できる。」「早速、母親クラブでオンライン会議システムを試してみようと思います。」など、その効用を実感する感想が挙げられました。



☆ 単位E 「地域における子育てネットワークとして家庭教育支援について」

本講座の修了者の多くは、市町村の子育てネットワークとして活動します。講義では、長く子育てネットワークとして活躍する宮崎講師をお招きし、活動を続ける思い、やりがいなどについて話していただきました。また、実際に、ワークショップの進め方やアイスブレイキングの方法を、受講者が模擬体験する形式で演じていただき、受講者は、講座の主催者としての細やかな工夫や配慮、ネットワークの魅力や価値について、実感をもって学ぶことができました。



☆ 単位A 「グループワークを活用した子育て支援

～親の学び学習プログラムの活用を考える～」（乳幼児期編）



乳幼児期は、乳幼児が「信頼する」ことを学ぶ過程にあります。本講義では、保護者にどうやって乳幼児期過程の大切さを伝えていけば良いのかをテーマに、グループワークを活用した学習プログラムの進め方について学びました。坂講師から、『子供の育ちとは親の育ちでもあること』、『親自身の育ちの過程にも他者との相互作用が必要であること』等を、親自身が気づいていく機会を提供することが、子育て支援者の役割である。」という話がなされ、共に集い、学ぶ場の重要性を認識する機会になりました。

☆ 単位B 「With コロナの子育て支援の選択肢」（幼児期編）

幼児期は、自立性や積極性を身に付ける過程にあります。そのためには、「環境を通して子供の主体性を尊重する」という、「保育の基本原則」の知識が有用です。講義では、保育現場の実際の様子を動画で視聴しながら、渡辺講師が、保育者の行為の意図について解説するという形式で、学びを深めました。子供が主体的に関わりたくなる、選ぶ自由が豊かにある環境設定と、共同作業者であり理解者として寄り添う大人の存在が、子供の育ちを支えるということを実感する時間となりました。



☆ 単位C 「児童期の子どもの特徴と保護者への支援」



児童期は、自律と責任を育む過程にあります。野平講師は、「思うに任せない他人や環境との関わりのなかで人は育つ」、「応援されているという意識の中で、小さな失敗をたくさんさせる」と述べた上で、「育つ力を信じる、待つ、見守る、任せる」という大人の姿勢が、子供の存在の基盤をつくるとの話をされました。また、児童期に見られる「保護者の悩み」にどのようなアドバイスができるかという演習課題に対して、グループで協議し考えを深めました。

☆ 単位D 「思春期の子ども心と体の不思議」

思春期には、恐れや怒りの中枢である扁桃体が過剰に活性化するなど、脳の発達過程に伴うさまざまな危機が生じます。講義では、発達臨床心理学を御専門とする高橋講師から、思春期における発達過程の理解や、カウンセリング技法について学びました。講義をとおして学問的な専門知識を得ることができ、これまでの自分自身の経験や人権感覚に基づいて援助や言葉掛けをしてきたことを、見直したり裏付けたりする機会となりました。



○ 参加者の声

- 乳幼児期から思春期までの子供の特徴が学べ、とても勉強になった。
- 子供の成長段階に合わせて親は子にどう接するとよいか、また子育てに悩んでいる保護者の方への声のかけ方など、とても勉強になった。
- 納得できた講座ばかりだった。理解すればするほど、誰かの役に立ちたい気持ちでいっぱいになった。
- 子育ては分からないことが多くて不安なお母さん達との情報の共有や感情の共感が大切だと思った。
- グループワークでは多くの受講者との交流ができ、見方を広げることができた。